

わが職場

リーガホテルゼスト高松は、戦後の高度経済成長期を経てオイルショックが一段落した一九八〇年（昭和五五年）、ちょうど高松市街地のホテル建築ラッシュ時に「ホテルリッチ高松」としてここ高松市古新町に開業いたしました。

以来三〇余年、時代の荒波で市街地中心部のホテルは相次ぎ淘汰され、閉鎖や業態変更に追い込まれる中、大宴会場と和洋中すべてのジャンルのレストラン、さらにはカフェとバーをも有した老舗のシテイホテルとして地域のお客様に愛されそして支えられ、一九九二年（平成四年）にリーガロイヤルホテルグループに加入したことをきっかけにホテル名を改め現在に至っております。

開業三〇周年をきっかけに「うれしくおいしく

あたたかい」というスローガンのもと「あたたかいおもてなしと美味しい料理」をお客様に提供することこそが当ホテルの使命であると考えております。

そのスローガンを提唱しお客様に満足いただけるホスピタリティを提供する立場として、スタッフにはより一層の笑顔とサービスを心がける気配りを常に求める以上、会社としては健康で安全な職場環境を構築することは必須条件であると考えております。

そのため、スタッフには年一回の健康診断の他、産業医との定期的な意見交換をもとに現状認識及び改善を図る「安全衛生委員会」を設置。月に一度の「安全衛生会議」をもとに安全衛生責任者が各セクションの現状を把握し、産業医のアドバイスのもと適切なスタッフへのケアアプローチを行っております。

また、ホテルとしての

衛生面への配慮は、健康面への配慮のみならず利益を上げることに直結するため、ホテル館内及びバックヤード、お手洗いでの手指消毒液の設置、ユニフォームの定期的なクリーニング、ロビー及びレストランの禁煙化などを行い、特に調理場はチェックリストを作成し徹底した衛生管理を毎日行っております。

メンタルケアに関して は産業医のアドバイス、カウンセリングの推進、さらにマネジャー以上の管理職にはストレスチェックや耐性診断等での個別面談を今後開催する予定です。

すべてはお客様に満足いただくため、スタッフのマンパワーを最大限發揮することが出来る職場づくりを今後も安全衛生委員会ではすすめてまいりますと考えます。

リーガホテルゼスト高松

営業部 営業企画担当

部長代理 手嶋 茂樹